

Ⅰ 調査の概要

1 . 調査目的

現在大学に進学してくる受験生は増大傾向にある。したがって、大学としても現在高校に在学する障害のある生徒の実態などについて、積極的に調査をしていく必要があると考えられる。

本調査においては、大学が障害のある学生に対する支援を行う際、高校側が障害のある生徒にどのような進路指導をしているのか、大学にどのような支援体制があれば進路指導において進学を勧め得るのかといった内容について調査研究を行うものである。

2 . 調査設計

	高等学校	大 学
調査対象	北海道・東北・北関東地区高等学校	全国国立大学法人
配布数	1,324 サンプル (上記高等学校等全校)	81 サンプル (上記国立大学法人全校)
調査方法	郵送配付・郵送回収(自記式)	
調査期間	平成 21 年 1 月 30 日(金)～平成 21 年 3 月 3 日(火)	

3 . 回収結果

調査対象	配布数	総回収数	有効回収数	有効回収率
高等学校	1,324	542	540	40.7%
大 学	81	49	49	60.5%

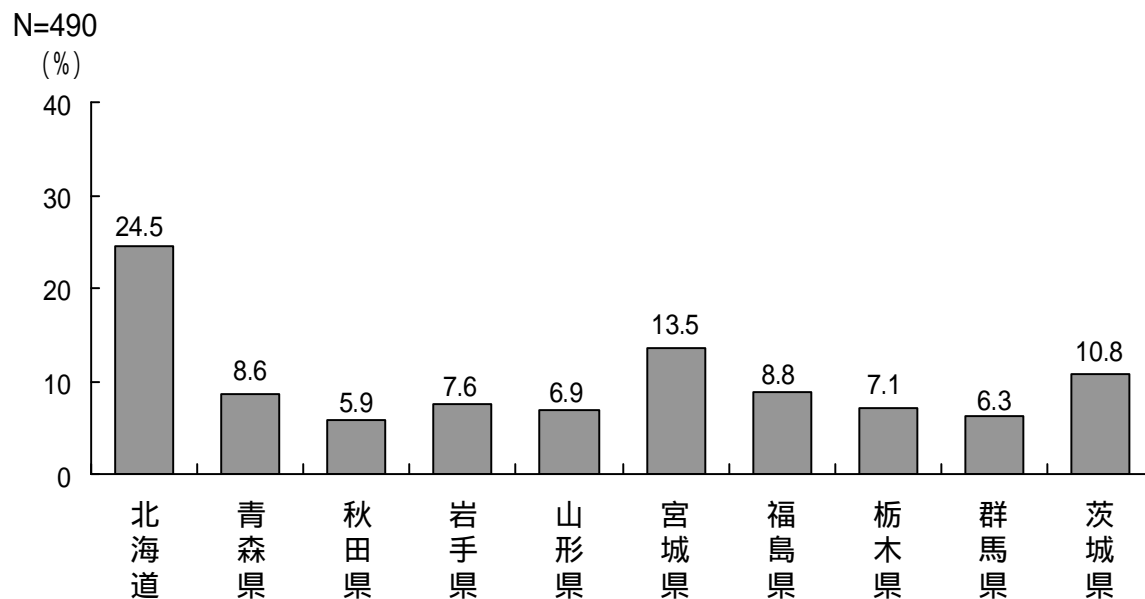
4 . 報告書の見方

- (1) N (Number of cases の略) は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答者が2つ以上の回答をすることができる質問では、回答件数の合計は回答者数(100%)を超える。
- (3) 回答はすべて百分比(%)で表し、小数点第2位を四捨五入している。そのために百分比の合計が100.0にならない場合がある。
- (4) 図表において、比率が少ない選択肢については、比率の表示を省略している場合がある。
- (5) 図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

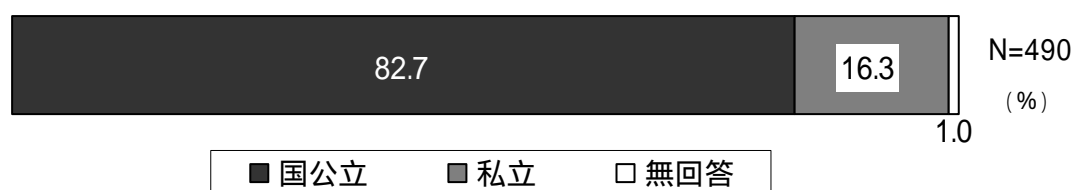
5 . 調査対象の属性

(1) 高等学校 (普通・通信校)

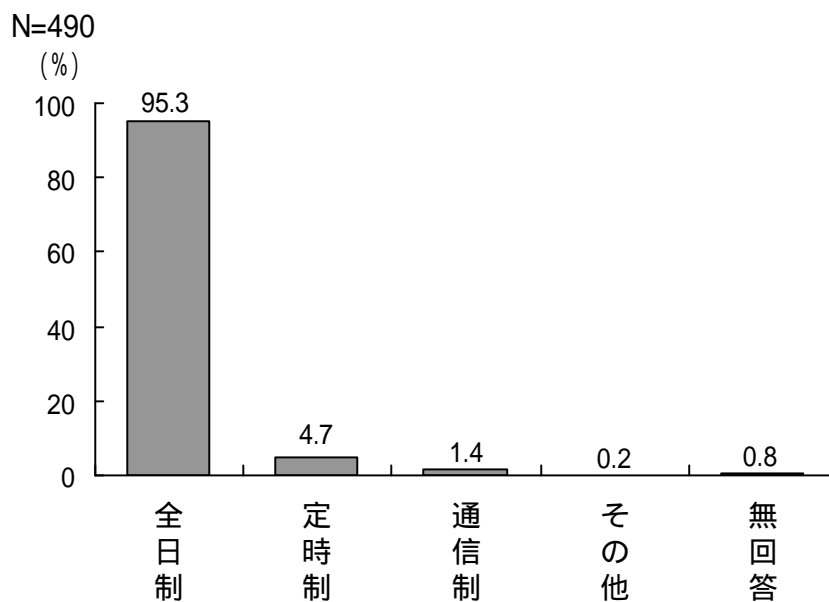
【学校所在地】



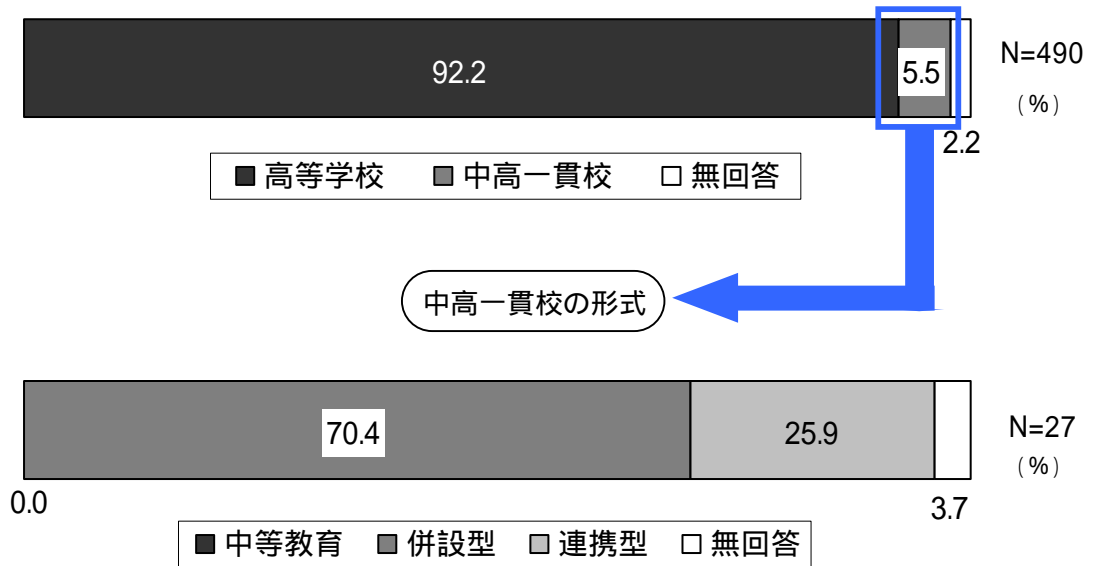
【設置主体】



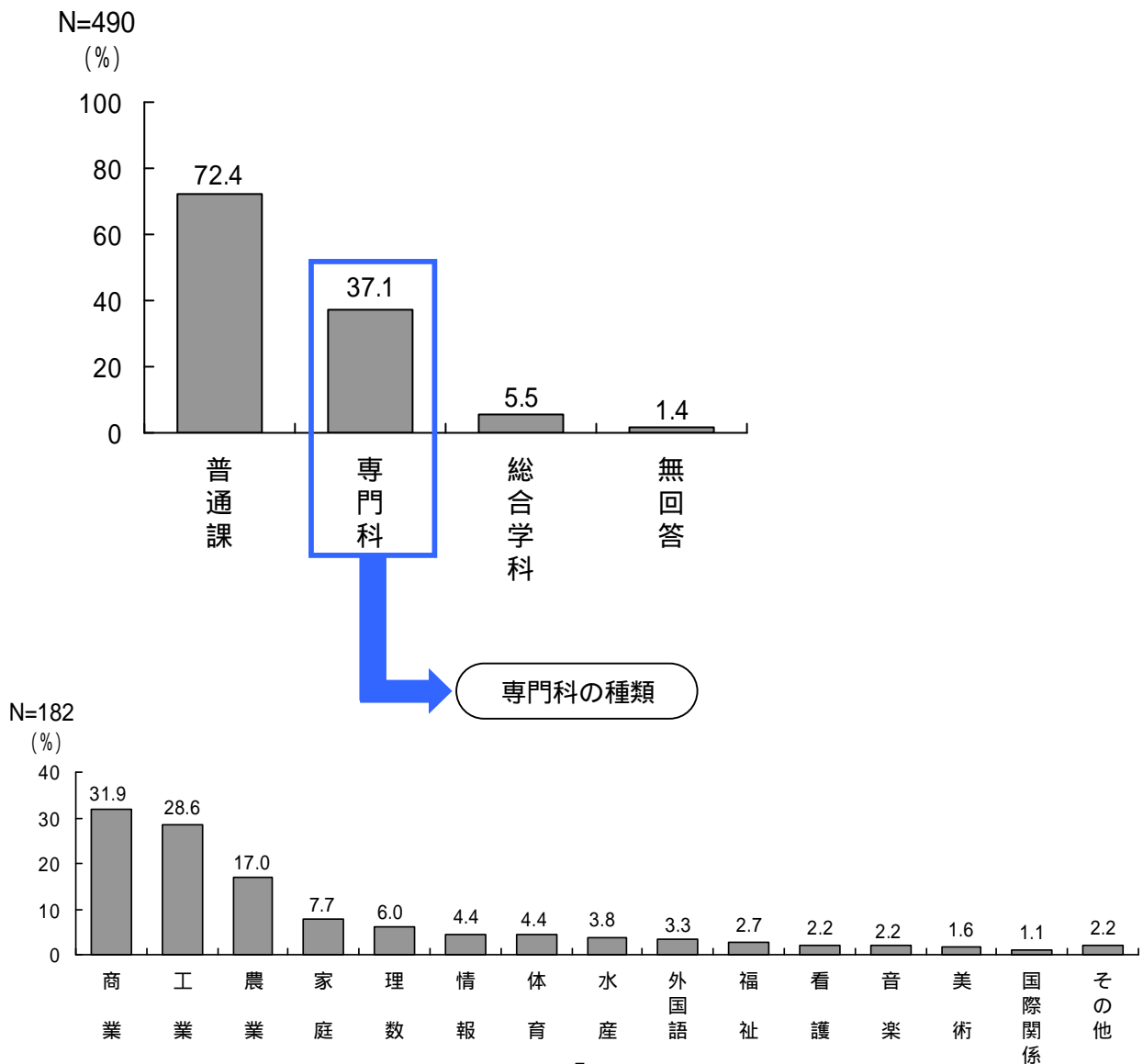
【課 程】



【校 種】



【学 科】

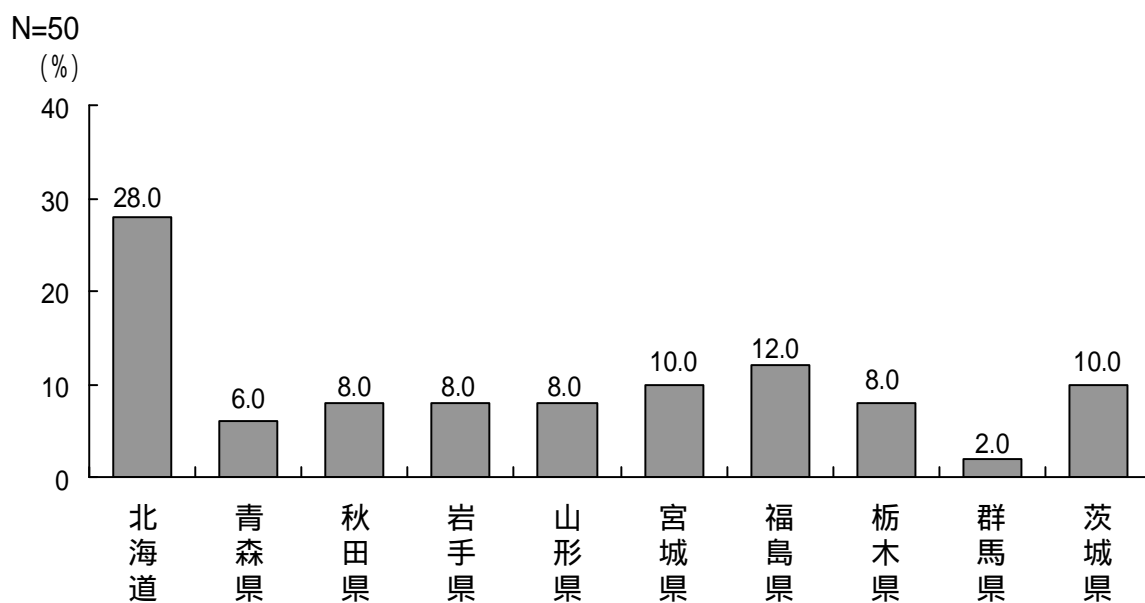


【学校規模】

学校規模	調査数	平均	最小値	最大値
生徒数	482	557.28	7	5,000
職員数	455	48.56	7	200

(2) 高等学校 (特別支援校)

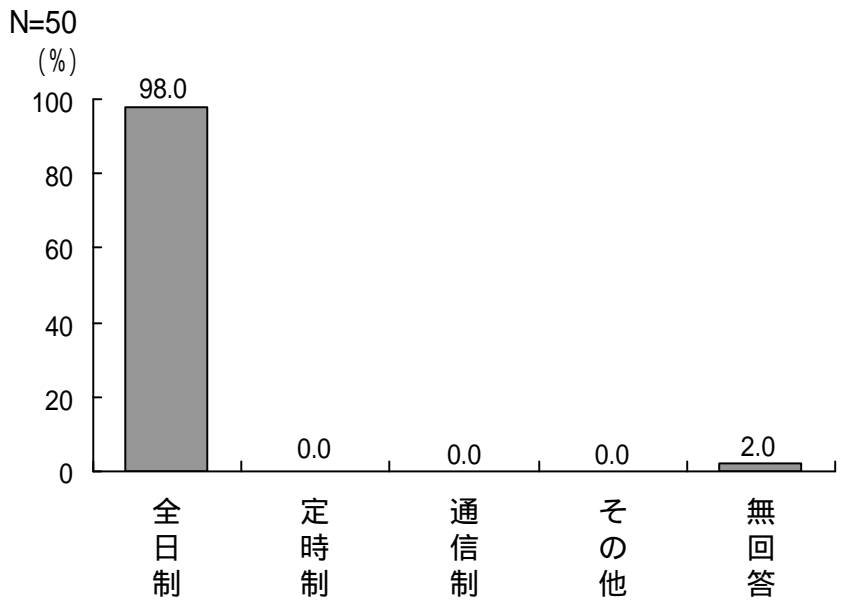
【学校所在地】



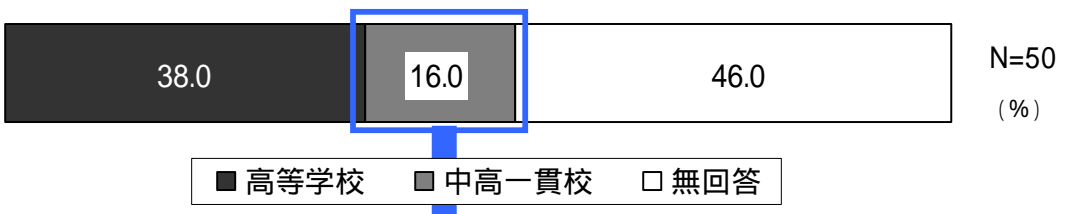
【設置主体】



【課 程】



【校 種】

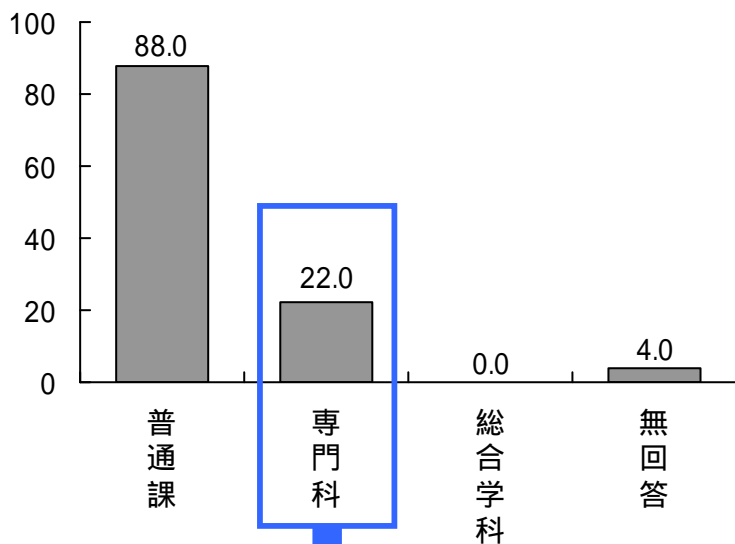


中高一貫校の形式 (%)

調査数	中等教育	併設型	連携型	無回答
8	12.5	87.5	0.0	0.0

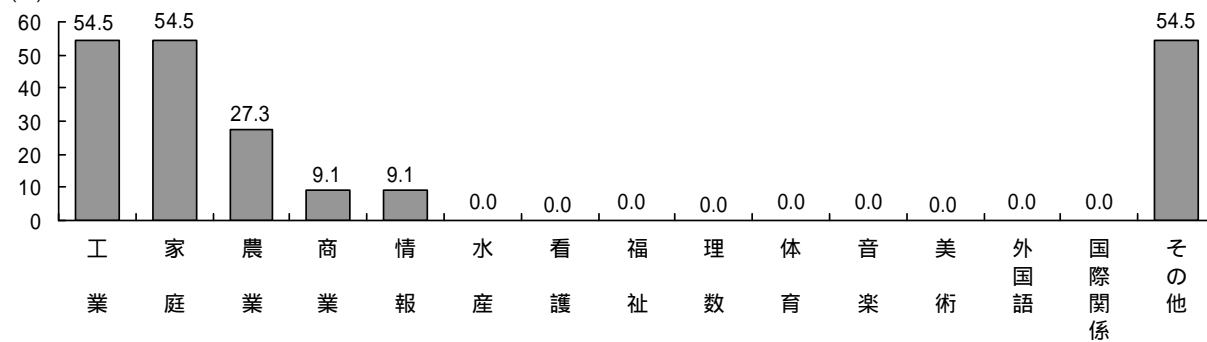
【学 科】

N=50
(%)



専門科の種類

N=11
(%)



【学校規模】

学校規模	調査数	平均	最小値	最大値
生徒数	49	72.31	7	309
職員数	39	43.33	10	157

(3)大 学

【学部数】

調査数	平均	最小値	最大値
49	4.27	1	12